

令和5年度 第1回 聴覚障害者センター指定管理者運営委員会協議の概要

- 1 日 時：令和5年5月27日（土）
開会：13時30分 閉会：14時20分
- 2 場 所：4F研修室
- 3 出席委員：岡山県聴覚障害者福祉協会 中西 厚美、中務 雅裕
岡山県難聴者協会 森 俊己、谷口 進
欠席委員：岡山県聴覚障害者福祉協会 井下 智貴、東 久示
岡山県難聴者協会 竹上 敦典
- 4 会議に出席した者
岡山県聴覚障害者センター 所長 西條 保幸
- 5 情報保障：岡山県要約筆記団体連絡会2名、センター職員3名
- 6 報告事項
 - (1) 年度別施設等の利用の許可状況
 - (2) 令和5年4月月例報告
 - (3) 4月までの各種事業の実施状況と計画
 - (4) 令和5年度運営委員及び事業委員
 - (5) 令和5年度手話通訳士養成研修事業
 - (6) 令和5年度手話通訳者養成事業
 - (7) 令和5年度要約筆記者養成事業
- 7 協議事項
 - (1) 令和4年度岡山県聴覚障害者センター中期目標の評価
 - (2) 令和5年度岡山県聴覚障害者センターの行事予定について
 - (3) 岡山県聴覚障害者センターのPR用チラシについて
- 8 その他
 - (1) 令和5年度運営委員会の会議日程
- 9 協議の概要（○は委員の発言、□はセンターの発言）
 - ① 岡山県聴覚障害者センター事業委員について

- 地域ボランティア研修など実施する場合には必ず各団体の事業委員へ連絡を忘れないようにしていただきたい。
 - 今後、団体の総会が開催されるが事業委員の一部が変更になる可能性がある。
- ② 文化講演会について
- 文化講演会は毎年参加者数が少ないのが問題だと思われる。センター事業として定着しているが、そもそもこの事業を実施するようになったいきさつは何なのか。
 - 平成28年度から始めた事業だが、「岡山の魅力再発見」という副タイトルで、平素は気づかないような（郷土岡山の）文化遺産や出来事、歴史上の人物にスポットをあてて識者に講演していただいている。事業としては「関係機関や地域社会との連携」の中で実施しており、健聴者にも広く参加を呼びかけて、聴覚障害者センターや聴覚障害について理解していただくことを目的としてはじめたものである。
 - 周知活動には協力するがもっと参加者が増えるよう取り組んでいただきたい。
 - センターから広報活動を依頼される時、チラシのPDFが送られてくるがJPEG形式で送付していただきたい。
- ③ センターPR用チラシについて
- チラシ作成はいい取り組みだと思う。効果が出れば良いのだが。
 - 配布の方法はどうするのか。
 - モデルケースとして、高齢難聴の方が障害者手帳の申請を行い、更生相談所に赴き等級判定を受け、最終的に市町村の窓口で手帳を受け取るという流れを想定している。従って、市町村担当課と更生相談所に一定部数のチラシを設置していただき、手帳受領時等に併せてチラシを配布していただき、聴覚センターのことを知っていただければと思っている。
- ④ 中期目標に関して
- 中期目標であるが、自立支援の参加者数など到底達成できないような数字になっている。
 - 現在の第3期中期目標は概ねH28～R2の5カ年の平均を目標値に設定している。主としてコロナ前の数値であり、その後の予算減額やコロナ感染症の影響を考えると厳しい数字だと考えている。従って、目標値を達成するというよりは、次年度は今年度の数値よりも高くなるように頑張っていくという姿勢で取り組んでいきたい。
 - 3月に開催された運営会議でも委員からはセンターの評価基準は厳しいという意見があったと承知している。

- 評価値が下がることで予算に影響があるのか。
- 中期目標は事業を適正に執行し成果を上げていくためのセンター独自の取り組みであり、予算に影響はない。

⑤ 今後の運営委員会の日程について

下記のとおり決定した。ただし今後都合により変更となる可能性がある。

- 第2回 7月29日(土) 13時半～
- 第3回 9月16日(土) 13時半～
- 第4回 11月18日(土) 13時半～
- 第5回 1月27日(土) 13時半～
- 第6回 3月30日(土) 13時半～